

開成中学校 入学試験
二〇一九年度
国語 - 解答 -

問一 茜と茜の母親の存在は、自分たちの食料を食い荒らすだけのじやま者で、早く出ていってくれればいいという気持ち。

問二 母親の勝手な都合で連れてこられた田舎での生活は茜にとって我慢がならないもので、住み慣れた街に早くもどつて、以前のように暮らしたいという気持ち。

問三 夢と冒険、すなわち勝手な大人から独立して別の生き方を探すための家出という試みは、実際にはあまりにももろく、実現不可能な子供じみたものであること。

問四 月に照らされた優しい海の景色が、家出への恐怖心を和らげてくれると同時に、明日はより遠くへ行こうという意志と、自分にはそれができるだろうという希望をもたらしてくれるように感じたから。

二
問一 1 要求 2 定刻

3 済む 4 宣伝

問二 なにをやるにしても物事がすんなり進まず、いい意味でも悪い意味でも、常に他人との関わりの中である種の刺激にさらされ、毎日が喜怒哀楽に満ちた生活だったから。

問三 エチオピアでの生活に慣れて、それが当たり前の数々に、逆に衝撃を受けたときに日本に帰国したため、日本のあまりにも洗練された仕組みの数々に、逆

問四 日本の生活にもどり、ひとりテレビを観ながら浮かぶ「笑い」は、エチオピアにいたときの腹の底から笑うような感情とは程遠いものを感じられたから。